

まちづくり交付金 事後評価シート
塩竈市中心市街地活性化推進地区

平成27年2月

宮城県塩竈市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	宮城県	市町村名	塩竈市	地区名	塩竈市中心市街地活性化推進地区			面積	226ha
交付期間	平成22年度～平成26年度	事後評価実施時期	平成26年度	交付対象事業費	628.575百万円	国費率	0.464		

1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	事業名							
		基幹事業	・宮町一号線他路線 ・塩釜駅前交通広場 ・海岸通一号線他路線 ・北浜沢乙線ポケットパーク ・本塩釜駅前駐車場自転車等駐車場 ・塩釜駅前自転車駐輪場 ・アクアゲートロシェルター整備						
	提案事業	・地域防災拠点施設改修整備事業 ・事業効果分析調査 ・景観形成調査事業 ・市民団体連携・回遊性向上支援事業							
	当初計画から削除した事業	事業名			削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響	
		基幹事業	①地域案内板整備、②白萩町四号線、③本町九号線			①②:震災の影響により、回遊ルートの再検討や今後、津波避難情報を新たに付加していくことも含め検討することとしたため削除した。 ③:震災の影響により、道路および周辺住宅が被災してしまい意見協議自体が難しい状況となっている。このため、本事業については次期都市再生整備計画での整備としたことにより削除した。			-
	提案事業	①国道45号塩竈市海岸通歩行環境改善事業、②歴史的環境整備街路事業調査・支援事業			①:事業調整の結果、各施設管理者負担で事業を実施することになったため、事業を削除した。 ②:震災の影響により、道路および周辺住宅が被災してしまい地元との協議調整が難しい状況となったため。			-	
新たに追加した事業	基幹事業	①本塩釜駅前駐車場、②坂のまち塩竈憩いパーク事業、③西塩竈遊歩道、④本塩釜駅前自転車駐輪場、⑤杉村惇美術館等整備事業、⑥塩竈市公民館本町分室改修事業			②③⑤⑥:市民及び来訪者の回遊性強化を図りながら賑わいの更なる創出をはかるため。 ①④:本塩釜駅周辺の交通機能強化を図るため。			各事業の追加によって各指標の数値目標を達成する効果を発現する要因となる。	
	提案事業	なし			-			-	
交付期間の変更	当初	平成22年度～平成26年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響					
	変更								

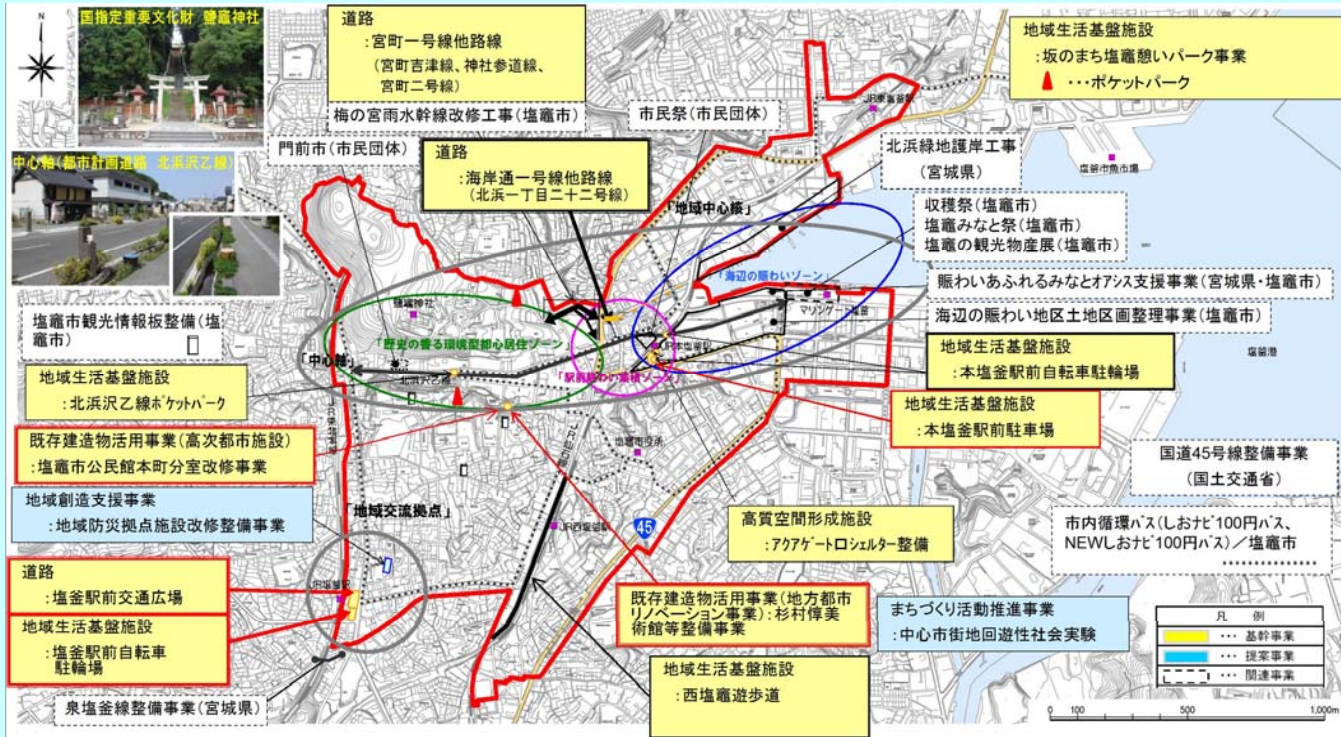
指標	単位	従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
		基準年度		目標年度		モニタリング	評価値					
指標1	歩行者交通量	人/12h	7,783	H21	7,940	H26	6,277	6,912	△	あり なし ●	数値目標は達成していないが、震災後、歩行者交通量は増加してきていることや、観光入込客数も回復基調にあるため、今後も増加が期待される。	-
指標2	駅周辺の満足度	%	36.1	H21	50.0	H26	45.0	74.7	○	あり なし	地域交流拠点の中心施設である塩釜駅前広場の整備により、拠点機能が着実に強化されたほか、本塩釜駅前の駐車場・自転車駐輪場、塩釜駅前の自転車駐輪場整備等により、駅周辺のイメージアップや駅利用者の利便性が高まった。	-
指標3	観光バス入場台数	台/日	86	H21	94	H26	50	37	×	あり なし ●	数値目標を達成できなかった。要因として、平成23年3月に発生した東日本大震災の影響による観光客の減少のほか、自家用車利用増加・団体旅行減少等の旅行形態の変移により観光バス自体での旅行者が減少しているものと想定される。	-
指標4	まちなか歩行環境の満足度	%	29.9	H21	46.0	H26	44.0	84.6	○	あり なし	歩行者の回遊性を誘導する高質な歩行空間の整備を行ったほか、高齢者等が安心して歩ける環境整備を行ったことや、海辺の賑わい土地区画整理事業等により計画的に基盤整備を実施したことで高い満足度を得られた。	-

	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標達成度※1	1年以内の達成見込み	効果発現要因 (総合所見)	フォローアップ 予定時期
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
3) その他の数値指標 (当初設定した数値 目標以外の指標)に よる効果発現状況	その他の 数値指標1	本塩釜駅及び塩釜駅にお ける乗客数	人/日	6,150	H21			5,902	6,024			平成21年度より減少しているが徐々に回復しつつあるほか、駅周辺環境が向上することから、今後、利用者数の増加が見込まれる。	H27年6月
	その他の 数値指標2	景観整備に対する満足度	%					959,000	81.1			『鹽竈海道』(鹽竈神社参道線前の道路：北浜沢乙線)や神社参道線などで、歩道を石畳風にしたり、案内板のデザインを工夫するなど、門前町としてふさわしい景観整備によるイメージアップに取り組んできたことが評価され、高い満足度を得ることが出来たと考える。	-
4) 定性的な効果 発現状況	北浜沢乙線や神社参道線などで、歩道を石畳風にしたり、案内板のデザインを工夫するなど、門前町としてふさわしい景観整備に取り組んできたことや、鹽竈神社のパワースポットとしての人気などから、観光パンフレットを持ちながら北浜沢乙線を通り鹽竈神社へ参拝する女性観光客の姿をよく見かけるようになった。												
5) 実施過程の評価	実施内容				実施状況				今後の対応方針等				
	モニタリング	都市再生整備計画の計画管理として、事業成果についての評価や事業の進め方の改善等を確認するための中間モニタリングを実施した。			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				●	平成25年度のモニタリングにおいて確認できた内容を、平成26年度に実施する事後評価に反映させる。			
	住民参加 プロセス	塩釜駅前の設計に関し、市民団体や事業者等の意見を反映しながら、本市の西の玄関口にふさわしい機能やデザインを取り入れた設計を取りまとめた。			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				●	駅前広場整備後は市民団地と連携したイベントなどを開催し西の玄関口にふさわしい賑わいの創出を目指す。			
	持続的なまちづくり 体制の構築	地域振興ならびに社会福祉の増進を図るイベント活動を実施した。			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				●	東日本大震災後に落ち込んだ交流人口を呼び起こすためにイベント等を継続することで中心市街地の回遊性を持続的なものとする。			

様式2-2 地区の概要

塩竈市中心市街地活性化推進地区(宮城県塩竈市) まちづくり交付金の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値
将来ビジョン:海園都市・塩竈 ～海と歴史のまち・美味しい食と文化のまち・海辺と暮らすまち～	歩行者交通量 単位:人/12h	7,783 H21	7,940 H26	6.912 H26
大目標:3ゾーンの拠点形成による魅力向上と地域交流拠点の形成、およびゾーン縁辺部の暮らしやすい住環境の形成 ①拠点機能の強化によるまちのイメージアップ ②回遊性の向上と活性化支援 ③安全で安心して暮らせる住環境の形成	駅周辺の満足度 単位:%	36.1 H21	50.0 H26	74.7 H26
	観光バス入場台数 単位:台/日	86 H21	94 H26	37 H26
	まちなかの歩行環境の満足度 単位:%	29.9 H21	46.0 H26	84.6 H26



まちの課題の変化

- ・地域交流拠点の中心施設である塩釜駅前広場の整備により、拠点機能が強化されたほか、本塩釜駅前の駐車場・自転車駐輪場、塩釜駅前の自転車駐輪場整備等により、駅利用者の利便性が高まった。
- ・宮町一号線他路線整備を実施することで、観光拠点である鹽竈神社へのアクセス性が向上した。
- ・明治期に開業し現在は廃線となった路線敷きに、当時の歴史を紹介するサインやモニュメント等を設置した遊歩道を整備したことで市民や来訪者等の回遊性の向上を図ることが出来た。
- ・坂道の途中に一時的に休息できる施設整備を行うことで高齢者等が快適に暮らせる環境整備を行った。
- ・地域防災拠点施設(公民館)にエレベーターを設置したことで、被災した高齢者等の円滑な移動が可能となった。
- ・塩竈の食の魅力が体感できるイベントを開催し、新たな賑わいの創出を図ることが出来た。

今後のまちづくりの方策(改善策を含む)

- ・本塩釜駅前広場等により高められた拠点機能を更に強化・充実させるために、残された駐輪場整備を進める。
- ・中心軸の歩行環境をより高め、周辺に波及させるために、歩行空間・植栽等の整備によるグレードアップを図る。
- ・各市民団体への支援・連携を継続し、官民協働のまちづくりを推進することで、中心市街地の活性化や回遊性向上を推進する。
- ・観光・商業の活性化を図り、交流人口を増大させるために、交流施設とシンボル施設を整備する。
- ・塩釜駅に加え、新たに西塩釜駅、東塩釜駅を地域交流拠点に位置付け、駅及び駅周辺の整備を推進し、機能強化を図る。
- ・歩行者の回遊性・ネットワークを強化するために、歩道環境整備とあわせ、案内板等を設置する。
- ・中心市街地活性化と塩竈のイメージアップにつながる、景観に配慮したまちづくりを推進する。

まちづくり交付金 事後評価シート (添付書類)

(1) 成果の評価

- 添付様式1-① 都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無
- 添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(完成状況)
- 添付様式2-① 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況
- 添付様式2-② その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)により計測される効果発現の計測
- 添付様式2-参考記述 定量的に表現できない定性的な効果発現状況

(2) 実施過程の評価

- 添付様式3-① モニタリングの実施状況
- 添付様式3-② 住民参加プロセスの実施状況
- 添付様式3-③ 持続的なまちづくり体制の構築状況

(3) 効果発現要因の整理

- 添付様式4-① 効果発現要因の整理にかかる検討体制
- 添付様式4-② 数値目標を達成した指標にかかる効果発現要因の整理
- 添付様式4-③ 数値目標を達成できなかった指標にかかる効果発現要因の整理

(4) 今後のまちづくり方策の作成

- 添付様式5-① 今後のまちづくり方策にかかる検討体制
- 添付様式5-② まちの課題の変化
- 添付様式5-③ 今後のまちづくり方策
- 添付様式5-参考記述 今後のまちづくり方策に関するその他の意見
- 添付様式5-④ 目標を定量化する指標にかかるフォローアップ計画
- 添付様式6 当該地区のまちづくり経験の次期計画や他地区への活かし方
- 添付様式6-参考記述 今後、まちづくり交付金の活用予定、又は事後評価を予定している地区の名称(当該地区の次期計画も含む)

(5) 事後評価原案の公表

- 添付様式7 事後評価原案の公表

(6) まちづくり交付金評価委員会の審議

- 添付様式8 まちづくり交付金評価委員会の審議

(7) 有識者からの意見聴取

- 添付様式9 有識者からの意見聴取

(1) 成果の評価

添付様式1-① 都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無

	変更		変更前	変更後	変更理由
	あり	なし			
A. まちづくりの目標		●	-	-	-
B. 目標を定量化する指標		●	-	-	-
C. 目標値		●	-	-	-
D. その他()		●	-	-	-

添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(事業の追加・削除を含む)

基幹事業		当初計画		最終変更計画		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況	
事業	事業箇所名	事業費	事業内容	事業費	事業内容			完成	完成見込み
道路	宮町一号線他路線(宮町吉津線、神社参道線、宮町二号線)	166.2	L=412m W=15.0m 道路改良(用地買収、道路拡幅による相互通行、縁石、側溝、植栽等)	153.867	L=540m W=15.0m 道路改良(用地買収、道路拡幅による相互通行、縁石、側溝、植栽等)	事業費精査により減額	影響なし	●	
道路	塩釜駅前交通広場	160.9	A=2,120㎡ (タクシーバス3台、タクシー-66台、バスバス1台、自家用車バス2台、遊歩道、ローラー形式)	133.107	A=2,120㎡ (タクシーバス3台、タクシー-66台、バスバス1台、自家用車バス2台、遊歩道、ローラー形式)	事業費精査により減額 震災の影響により事業期間を延伸	影響なし	●	
道路	海岸通一号線他路線(北浜一丁目二十二号線)	29.8	L=117m W=12.0m 道路改良(車道舗装打替え、歩道カー舗装、誘導ブロック等)	7.689	L=51m W=12.0m 道路改良(車道舗装打替え、歩道カー舗装、誘導ブロック等)	災害復旧工事との調整が図れず、一部区間を減工	影響なし	●	
公園									
河川									
下水道									
駐車場有効利用システム									
地域生活基盤施設	北浜沢乙線ポケットパーク	5.0	A=57.5㎡	4.967	A=57.5㎡	事業費精査により減額	影響なし	●	
地域生活基盤施設	坂のまち塩竈憩いパーク事業	-	-	4.866	N=5箇所(シェルター、ベンチ、照明灯等)	高齢者の歩行環境へのバリアフリー対策、回遊性向上事業として新たに追加	影響なし	●	
地域生活基盤施設	西塩竈遊歩道	-	-	10.000	L=800m W=10m 照明灯 18基、サイン、ベンチ、モニュメント等	周辺環境の向上と駅利用者の利便性および駅周辺の回遊性向上を図るため新たに追加	影響なし	●	
地域生活基盤施設	本塩釜駅前自転車等駐車場	32.9	A=400㎡(2段ラック260台分設置、券売機等)	-	-	事業を本塩釜駅前駐輪場、本塩釜駅前駐車場の2つに分けて整備する		-	-
地域生活基盤施設	本塩釜駅前駐車場	-	-	4.067	A=419㎡(駐車ます、精算機等)	本塩釜駅前の拠点機能強化を図るため新たに追加	影響なし	●	
地域生活基盤施設	本塩釜駅前自転車駐輪場			1.922	A=50㎡(平置き型43台分設置)	本塩釜駅前自転車等駐車場から駐輪場を分けて整理	影響なし		●
地域生活基盤施設	塩釜駅前自転車駐輪場	57.3	A=1,240㎡(2段ラック650台分設置、券売機)	91.607	A=750㎡(平置き型434台分設置、バイク49台)	駐輪需要調査結果による駐輪台数の見直しを踏まえた増額と事業期間の変更	影響なし		●
地域生活基盤施設	地域案内板	19.3	案内図2基、L型誘導9基	-	-	震災の影響により、設置ルートの再検討等が必要となったため事業削除	影響なし	-	-
高質空間形成施設	アクアゲートロシェルター整備	2.9	L=12m	4.028	L=12m	事業費精査により増額	影響なし	●	
高質空間形成施設	白萩町四号線	3.3	W=6m, L=55m(車道舗装打替え、歩道カー舗装等)	-	-	震災の影響により、ルート及び整備内容の再検討が必要となったため事業削除		-	-

高質空間形成施設	本町九号線	18.8	W=8.9m,L=50m(歩道自然石舗装、車道ILBグレー舗装、植	-	-	震災の影響により、地元住民との協議調整が困難になったため、事業削除		-	-
高次都市施設									
既存建造物活用事業	杉村惇美術館等整備事業	-	-	160.000	該当施設床面積1108.14㎡(共用部分含む) 木造2階建てのうち1階の一部及び2階全部 1階:美術館・博物館施設(公民館施設併設)、2階:美術館施設	交流人口の増加や地域活性化を図るため新たに追加	影響なし		●
既存建造物活用事業	塩竈市公民館本町分室改修事業	-	-	20.000	該当施設床面積295.66㎡(共用部含む) 木造2階建てのうち1階の一部	新たな賑わいの場を創出するため新たに追加	影響なし		●
都市再生交通拠点整備事業									
土地区画整理事業(都市再生)									
住宅市街地総合整備事業									

※1:事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(事業の追加・削除を含む)

基幹事業

事業	事業箇所名	当初計画		最終変更計画		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況	
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			完成	完成見込み
地区再開発事業									
バリアフリー環境整備事業									
優良建築物等整備事業									
住宅市街地総合整備事業									
街なみ環境整備事業									
住宅地区改良事業等									
都心共同住宅供給事業									
公営住宅等整備									
都市再生住宅等整備									
防災街区整備事業									

※1: 事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

提案事業

事業	細項目	当初計画		最終変更計画		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況	
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			完成	完成見込み
地域創造 支援事業	国道45号塩竈市海岸通歩行環境改善事業	3	L≒0.5km 電線引込み	-	-	施設管理者負担による対応となったため事業を削除	影響なし	-	-
	地域防災拠点施設改修整備事業	36.9	1基 エレベーター設置	31.815	1基 エレベーター設置	事業費精査により減額	影響なし	●	
事業活用調査	事業効果分析調査	3.8	事業効果分析調査	-	-	社会資本整備総合交付金の効果促進事業に変更			●
	景観形成調査事業	4.7	景観形成調査	-	-	社会資本整備総合交付金の効果促進事業に変更	影響なし	●	
まちづくり 活動推進事業	歴史的環境整備街路事業調査・支援事業	4.0	人力車レンタル費(2台)、ナイトツアー開催 ワークショップ(年6回予定)開催	-	-	震災の影響により、地元住民との協議調整が困難になったため、事業削除	影響なし	-	-
	市民団体連携・回遊性向上支援事業	3.8	自転車購入費(3台)、案内所設置	0.640		一部を社会資本総合交付金の効果促進事業に変更	影響なし	●	

※1: 事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

(参考)関連事業

事業	細項目	事業箇所名	事業費		事業期間		進捗状況及び所見	備考
			当初計画	最終変更計画	当初計画	最終変更計画		
仙塩広域都市計画事業		塩釜海辺の賑わい地区土地区画整理事業	1,092	1,092	平成14年～平成23年度	平成14年～平成23年度	平成24年度に基盤整備が完了し、平成29年度に完了見込み	
一国幹線整備事業		国道45号線整備事業	未定	未定	未定	未定	継続中	
泉塩釜線整備事業		自歩道設置	未定	未定	(平成19年～28年度)～29年度以降	(平成19年～28年度)～29年度以降	継続中	
塩釜港区港奥部再開発事業		北浜緑地護岸工事	6,200	6,200	平成14年～平成24年度	平成14年～平成24年度	継続中	
みなと振興交付金事業		賑わいあふれるみなとオアシス支援事業	192	192	平成20年～平成24年度	平成20年～平成24年度	震災により事業廃止	
地域活力基盤創造交付金関連事業		塩竈市観光情報板整備	8	8	平成22年～平成23年度	平成22年～平成23年度	完了	
雨水幹線改修工事		梅の宮雨水幹線改修工事	200	200	平成22年～平成23年度	平成22年～平成23年度	完了	
「しおナビ100円バス」「NEWしおナビ100円バス」の運行		市全域	18.5	18.5	継続中	継続中	継続中	
イベント事業		収穫祭	5	5	継続中	継続中	継続中	
イベント事業		塩竈みなと祭	135	135	継続中	継続中	継続中	
イベント事業		塩竈の観光物産展	10	10	継続中	継続中	継続中	
イベント事業		門前市	-	-	継続中	継続中	継続中	
イベント事業		市民祭	23	23	継続中	継続中	継続中	
景観形成調査事業		中心市街地内	-	2.5	-	平成24年度～平成24年度	完了	
市民団体連携・回遊性向上支援事業		中心市街地内	-	2	-	平成24年度～平成26年度	平成26年度までに完成見込み	
事業効果分析調査		中心市街地内	-	3	-	平成26年度～平成26年度	平成26年度内での完成見込み	

添付様式2-① 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況

指標	単位	データの計測手法と評価値の求め方 (時期、場所、実施主体、対象、具体手法等)	(参考)※1 計画以前の値 (ア)		従前値 (イ)		目標値 (ウ)		数値(エ)			目標達成度※2		1年以内の 達成見込みの 有無		
				基準 年度		基準 年度		目標 年度						あり	なし	
指標1	歩行者交通量	人/12h	従前値と同様に、地区内の主要4箇所における歩行者交通量を計測する。	6,515	H12	7,783	H21	7,940	H26	モニタリング	H25	6,277	モニタリング	△		●
										事後評価	確定見込み	6,912	事後評価	△		
指標2	駅周辺の満足度	%	従前値と同様の設問をアンケート調査により把握する。	-	-	36.1	H21	50.0	H26	モニタリング	H25	45.0	モニタリング	△		
										事後評価	確定見込み	74.7	事後評価	○		
指標3	観光バス入場台数	台/日	従前値と同様に、地区内の主要2箇所の観光バス等の入場台数を計測する。	-	-	86	H21	94	H26	モニタリング	H25	50	モニタリング	△		●
										事後評価	確定見込み	37	事後評価	×		
指標4	まちなかの歩行環境の満足度	%	従前値と同様の設問をアンケート調査により把握する。	-	-	29.9	H21	46.0	H26	モニタリング	H25	44.0	モニタリング	△		
										事後評価	確定見込み	84.6	事後評価	○		
指標5										モニタリング			モニタリング			
										事後評価	確定見込み		事後評価			

指標	目標達成度○△×の理由 (達成見込み「あり」とした場合、その理由も含む)	その他特記事項 (指標計測上の問題点、課題等)
指標1	目標値に達しなかった要因としては、平成23年3月に発生した東日本大震災の影響による観光客の減少等が要因と考えられる。ただし、平成12年の交通量や平成25年のモニタリング時点より歩行者交通量は増加していることや、震災発生後の観光入込客数も回復基調にあるため、今後も増加が期待される。	-
指標2	平成26年8月に実施したアンケート調査において、数値目標を大きく上回る満足度を得られたため。	-
指標3	目標値に達しなかった要因としては、平成23年3月に発生した東日本大震災の影響による観光客の減少等が要因と考えられる。ただし、震災発生後の観光入込客数は回復基調にあるものの、自家用車利用増加・団体旅行減少等の旅行形態の変移により観光バス自体での旅行者が減少しているものと想定される。	-
指標4	平成26年8月に実施したアンケート調査において、数値目標を大きく上回る満足度を得られたため。	-
指標5		

※1 計画以前の値とは、都市再生整備計画の作成より以前(概ね10年程度前)の値のことをいう。

※2 目標達成度の記入方法

○: 評価値が目標値を上回った場合

△: 評価値が目標値には達していないものの、近年の傾向よりは改善していると認められる場合

×: 評価値が目標値に達しておらず、かつ近年の傾向よりも改善がみられない場合

添付様式2-② その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現の計測

指標	単位	データの計測手法と評価値の求め方(時期、場所、実施主体、対象、具体手法等)	(参考)※1 計画以前の値(ア)		従前値(イ)		数値(ウ)			本指標を取り上げる理由	その他特記事項(指標計測上の問題点、課題等)
				基準年度		基準年度					
その他の数値指標1	人/日	JR東日本旅客鉄道株式会社ホームページにて公表している「各駅乗車人員(1日平均)」の結果を用いて、本塩釜駅東側出入口が整備された年からの過去3年間(平成23年度～平成25年度)の傾向から、評価基準日の乗車人員を推計し、評価値(見込み)とする。			6,150	H21	モニタリング	H25	5,902	第1期都市再生整備計画において、本塩釜駅周辺整備が行われ、第2期計画においては、塩釜駅の駅前広場及び自転車駐輪場整備が行われたことから、乗客数を計測し、都市の魅力と良好な居住環境の度合いについて第1期からの経年変化を把握する指標として、その他指標に設定した。	
							事後評価	確定	6,024		見込み
その他の数値指標2	%	平成26年8月に実施したアンケート調査において確認した、「これまでに市が取り組んできた門前町にふさわしい景観整備の取り組み」に対する満足度(「満足」「どちらかといえば満足している」)の合計を評価値とする。	-	-	-	-	モニタリング	-		-	『鹽竈海道』(鹽竈神社参道前の道路:北浜沢乙線)や神社参道線などで、歩道を石畳風にしたり、案内板のデザインを工夫するなど、門前町としてふさわしい景観形成によるイメージアップに取り組んできたことから、都市の魅力向上の取り組みを確認する指標として、その他指標に設定した。
							事後評価	確定	81.1	見込み	

※1 計画以前の値とは、都市再生整備計画の作成より以前(概ね10年程度前)の値のことをいう。

添付様式2-参考記述 定量的に表現できない定性的な効果発現状況

・北浜沢乙線や神社参道線などで、歩道を石畳風にしたり、案内板のデザインを工夫するなど、門前町としてふさわしい景観整備に取り組んできたことや、鹽竈神社のパワースポットとしての人気などから、観光パンフレットを持ちながら北浜沢乙線を通り鹽竈神社へ参拝する女性観光客の姿をよく見かけるようになった。

(2) 実施過程の評価

・本様式は、都市再生整備計画への記載の有無に関わらず、実施した事実がある場合には必ず記載すること。

添付様式3-① モニタリングの実施状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	実施状況	実施頻度・実施時期・実施結果	今後の対応方針等
都市再生整備計画の計画管理として、事業成果についての評価や事業の進め方の改善等を確認するための中間モニタリングを実施した。	予定どおり実施した	●【実施頻度】平成25年度 計1回 【実施時期】年度末(3月31日付け) 【実施結果】各事業の進行管理、指標への影響・測定方法等について確認することができた。	平成25年度のモニタリングにおいて確認できた内容を、平成26年度に実施する事後評価に反映させる。
	予定はなかったが実施した		
	予定したが実施できなかった (理由)		
	予定どおり実施した		
	予定はなかったが実施した		
	予定したが実施できなかった (理由)		

添付様式3-② 住民参加プロセスの実施状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	実施状況	実施頻度・実施時期・実施結果	今後の対応方針等
塩釜駅前設計に関するワーキング	予定どおり実施した	●【実施頻度】述べ17団体(市民団体等:8団体、事業者等:9団体) 【実施時期】平成25年度 【実施結果】市民団体や事業者等の意見を反映しながら、本市の西の玄関口にふさわしい機能やデザインを取り入れた設計を取りまとめた。	駅前広場整備後は市民団体と連携したイベントなどを開催し西の玄関口にふさわしい賑わいの創出を目指す。
	予定はなかったが実施した		
	予定したが実施できなかった (理由)		
	予定どおり実施した		
	予定はなかったが実施した		
	予定したが実施できなかった (理由)		

添付様式3-③ 持続的なまちづくり体制の構築状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	構築状況	実施頻度・実施時期・実施結果		今後の対応方針等
		i. 体制構築に向けた取組内容	ii. まちづくり組織名:組織の概要	
地域振興ならびに社会福祉の増進を図るイベント活動	予定どおり実施した	●「しおがまおでん」の販売や手焼き笹かま体験等による塩竈の水産練り製品のPR、市内菓子店による塩を使ったスイーツの販売等のイベントを実施	塩釜市青年四団体連絡協議会	東日本大震災後に落ち込んだ交流人口を呼び起こすためにイベント等を継続することで中心市街地の回遊性を持続的なものとする。
	予定はなかったが実施した			
	予定したが実施できなかった (理由)			
人口交流増進を図るイベント活動	予定どおり実施した	●毎年1回しおがまみなとまつりにあわせてイベントを開催 イベント名「OPEN SAKE」 (日本酒の試飲・販売イベント)	鹽竈海道まちづくり推進研究会	引き続きイベントを実施していく。
	予定はなかったが実施した			
	予定したが実施できなかった (理由)			
しおナビぐらぶらりんマップ発行	予定どおり実施した	●まち歩きマップを発行・更新(H22～26に3回更新)。 市内各所へ設置配布。 H22～26に40万部作成	●塩釜市青年四団体連絡協議会(発行) ●しおナビ実行委員会(編集)	今後も年1回の更新し、交流人口の拡大を図っていく。
	予定はなかったが実施した			
	予定したが実施できなかった (理由)			

(3) 効果発現要因の整理

添付様式4-① 効果発現要因の整理にかかる検討体制

名称等	検討メンバー	実施時期	担当部署
塩竈市都市再生整備計画策定及び事後評価ワーキング	政策課、財政課、市民安全課、子育て支援課、長寿社会課、水産振興課、商工港湾課、観光交流課、都市計画課、土木課、生涯学習課、復興推進課	平成26年10月23日 平成26年11月13日	都市計画課

添付様式4-② 数値目標を達成した指標にかかる効果発現要因の整理

指標の種類別		指標2	指標4	その他指標2	
指標名		駅周辺の満足度	まちなかの歩行環境の満足度	環境整備に対する満足度	
種別	事業名・箇所名	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見
基幹事業	【道路】宮町一号線他路線(宮町吉津線、塩竈神社参道線、宮町二号線)	○	地域交流拠点の中心施設である塩釜駅前広場の整備により、拠点機能が着実に強化された。 また、本塩釜駅前駐車場及び併設する自転車駐輪場が整備されたことで駅利用者の利便性が高まったほか、塩釜駅前の自転車駐輪場も整備が完了したことで、駅利用者の期待が高まっていることなども要因となり高い満足度が得られたものと考えられる。	◎	鹽竈神社入り口の変則五叉路交差点、国道45号までの一方通行を交互通行に改良する整備を行ったほか、歩行者の回遊性を誘導する高質な歩行空間の整備を行った。また、北浜沢乙線沿道や坂道の途中に休憩可能なポケットパークを整備し、高齢者等が安心して歩ける環境整備を行った。 都市再生整備計画事業や海辺の賑わい土地区画整理事業等により計画的に基盤整備を実施したことで高い満足度を得られたものと考えられる。
	【道路】塩釜駅前交通広場	◎		○	
	【道路】海岸通一号線他路線(北浜一丁目二十三号線)	○		◎	
	【地域生活基盤施設】北浜沢乙線ポケットパーク	-		◎	
	【地域生活基盤施設】坂のまち塩竈憩いパーク事業	-		◎	
	【地域生活基盤施設】西塩竈遊歩道	◎		◎	
	【地域生活基盤施設】本塩釜駅前駐車場	◎		○	
	【地域生活基盤施設】本塩釜駅前自転車駐輪場	◎		-	
	【地域生活基盤施設】塩釜駅前自転車駐輪場	◎		-	
	【高質空間形成施設】アクアゲートロシェルター整備事業	◎		◎	
	【地方都市リノベーション事業】塩竈市杉村惇美術館等	-		-	
	【既存建造物活用事業】塩竈市公民館本町分室改修事業	-		-	
提案事業	【地域創造支援事業】地域防災拠点施設改修整備事業	○	○	-	
	【まちづくり活動推進事業】中心市街地回遊性社会実験	◎	◎	○	
関連事業	【市事業】塩釜海辺の賑わい地区土地区画整理事業	◎	◎	◎	
	【国事業】国道45号線整備事業	△	-	◎	
	【県事業】泉塩釜線整備事業	-	-	-	
	【県事業】北浜緑地護岸工事	-	-	-	
	【県・市事業】賑わいあふれるみなとオアシス支援事業	○	◎	○	
	【市事業】塩竈市観光情報板整備(地域活力基盤創造交付金関連事業)	◎	◎	◎	
	【市事業】梅の宮雨水幹線改修工事	○	◎	◎	
	【市事業】「しおナビ100円バス」「NEWしおナビ100円バス」の運行	◎	○	-	
	【市事業】収穫祭	○	○	-	
	【市事業】塩竈みなと祭	○	○	-	
	【市事業】塩竈の観光物産展	○	○	-	
	【市事業】門前市	○	○	-	
	【市事業】市民祭	○	○	-	
	【市事業】景観形成調査事業	-	-	-	
	【市事業】市民団体連携・回遊性向上支援事業	-	-	-	
	【市事業】事業効果分析調査	-	-	-	

※指標改善への貢献度

- ◎：事業が効果を発揮し、指標の改善に直接的に貢献した。
- ：事業が効果を発揮し、指標の改善に間接的に貢献した。
- △：事業が効果を発揮することを期待したが、指標の改善に貢献しなかった。
- ：事業と指標の間には、もともと関係がないことが明確なので、評価できない。

今後の活用	・引き続き本塩釜駅、塩釜駅周辺の拠点機能の強化、イメージアップを図るとともに、西塩釜駅、東塩釜駅についても、地域交流拠点としての強化を図	・引き続き歩道整備やバリアフリー化を図るとともに、今後は交流人口の拡大に向けて、市外観光客等の満足度を高めるような整備を進めていく。	今後も中心市街地活性化と塩竈のイメージアップにつながる、景観に配慮したまちづくりを推進していくことが効果的と考ええる。
-------	--	--	---

添付様式4-③ 数値目標を達成できなかった指標にかかる効果発現要因の整理

指標の種別		指標1			指標3			その他指標1			
指標名		歩行者交通量			観光バス入場台数			本塩釜駅・塩釜駅における乗車人員			
種別	事業名・箇所名	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類	
基幹事業	【道路】 宮町一号線他路線(宮町吉津線、塩竈神社参道線、宮町二号線)	△	数値目標を達成できなかった要因としては、平成23年3月に発生した東日本大震災の影響による観光客の減少が要因と考えられる。ただし、平成12年の交通量や平成25年のモニタリング時点より歩行者交通量は増加していることや、震災発生後の観光入込客数も回復基調にあるため、今後も増加が期待される。	Ⅲ	△	数値目標を達成できなかった要因としては、平成23年3月に発生した東日本大震災の影響による観光客の減少等が要因と考えられる。ただし、震災発生後の観光入込客数は回復基調にあるものの、自家用車利用増加・団体旅行減少等の旅行形態の変移により観光バス自体での旅行者が減少しているものと想定される。	Ⅲ	△	本塩釜駅・塩釜駅の乗車人員は平成21年時点より減少しているが徐々に回復しつつある。利便性が向上したことで、利用者数が増加しているものとする。	Ⅲ	
	【道路】 塩釜駅前交通広場	-									
	【道路】 海岸通一号線他路線(北浜一丁目二十三号線)	△									
	【地域生活基盤施設】 北浜沢乙線ポケットパーク	△									
	【地域生活基盤施設】 坂のまち塩竈憩いパーク事業	△									
	【地域生活基盤施設】 西塩竈遊歩道	△									
	【地域生活基盤施設】 本塩釜駅前駐車場	△									
	【地域生活基盤施設】 本塩釜駅前自転車駐輪場	-									
	【地域生活基盤施設】 塩釜駅前自転車駐輪場	-									
	【高質空間形成施設】 アクアゲートロシエルター整備事業	△									
提案事業	【地方都市リノベーション事業】 塩竈市杉村惇美術館等	-									
	【既存建造物活用事業】 塩竈市公民館本町分室改修事業	-									
	【地域創造支援事業】 地域防災拠点施設改修整備事業	-									
関連事業	【まちづくり活動推進事業】 中心市街地回遊性社会実験	△									
	【市事業】 塩釜海辺の賑わい地区土地区画整理事業	△									
	【国事業】 国道45号線整備事業	△									
	【県事業】 泉塩釜線整備事業	-									
	【県事業】 北浜緑地護岸工事	-									
	【県・市事業】 賑わいあふれるみなとオアシス支援事業	△									
	【市事業】 塩竈市観光情報板整備(地域活力基盤創造交付金関連事業)	△									
	【市事業】 梅の宮雨水幹線改修工事	△									
	【市事業】 「しおナビ100円バス」「NEWしおナビ100円バス」の運行	△									
	【市事業】 収穫祭	△									
	【市事業】 塩竈みなと祭	△									
	【市事業】 塩竈の観光物産展	△									
	【市事業】 門前市	△									
	【市事業】 市民祭	△									
	【市事業】 景観形成調査事業	-									
	【市事業】 市民団体連携・回遊性向上支援事業	-									
	【市事業】 事業効果分析調査	-									

※目標未達成への影響度
 ×：事業が効果を発揮せず、指標の目標未達成の直接的な原因となった。
 ×：事業が効果を発揮せず、指標の目標未達成の間接的な原因となった。
 △：数値目標が達成できなかった中でも、ある程度の効果をあげたと思われる。
 -：事業と指標の間には、もともと関係がないことが明確なので、評価できない。
 ※要因の分類
 分類Ⅰ：内的な要因で、予見が可能な要因。
 分類Ⅱ：外的な要因で、予見が可能な要因。
 分類Ⅲ：外的な要因で、予見が不可能な要因。
 分類Ⅳ：内的な要因で、予見が不可能な要因。

改善の方針 (記入は必須)	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、歩道環境の高質化などを実施するほか、震災の影響により事業が見送られた案内板整備等を確実な実施により回遊性やネットワーク強化を図る。 ・ソフト事業との連携など再検討を行い、中心市街地の回遊性向上を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・塩竈神社参道線において円滑な交通流を確保するためには、神社までの中腹に狭隘な案内板整備等を確実な実施により回遊性やネットワーク強化を図る。 ・その他、良好な景観形成や、自家用車・歩行者対策もあわせて検討を行う必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・観光入込客数は震災後、回復傾向にあるほか、震災から約3年半が経過し、復興事業も着実に進んでいることで安全安心な中心市街地が形成されていることをアピールし、さらに来訪者等の増加につなげていく必要がある。
------------------	---	--	---

(4) 今後のまちづくり方策の作成

添付様式5-① 今後のまちづくり方策にかかる検討体制

名称等	検討メンバー	実施時期	担当部署
塩竈市都市再生整備計画策定及び事後評価ワーキング	政策課、財政課、市民安全課、子育て支援課、長寿社会課、水産振興課、商工港湾課、観光交流課、都市計画課、土木課、生涯学習課、復興推進課	平成26年10月23日 平成26年11月13日	都市計画課

添付様式5-② まちの課題の変化

事業前の課題 都市再生整備計画に記載 したまちの課題	達成されたこと(課題の改善状況)	残された未解決の課題	事業によって発生した 新たな課題
拠点機能の強化	<ul style="list-style-type: none"> ・地域交流拠点の中心施設である塩釜駅前広場の整備により、拠点機能が強化された。 ・また、本塩釜駅前駐車場及び併設する自転車駐輪場が整備されたことで駅利用者の利便性が高まったことや、塩釜駅前の自転車駐輪場についても整備が完了したことで、今後、利便性が向上する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・東日本大震災の影響により、JR仙石線高架橋下を活用し整備する予定の本塩釜駅前駐輪場について、JR東日本側で実施する高架橋耐震化工事と施工時期が競合することとなり、事業が完了しなかった。また、本塩釜駅前駐車場内に43台分の自転車駐輪場を整備したが、依然として、仙石線高架下駐輪場が飽和状態となっていることから早期整備が必要である。 あわせて、駐輪場の有料化を含めた管理形態等について検討を進めていく必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・東日本大震災の影響により住宅に被害を受けた被災者の方々が一日でも早く安心して生活ができるよう被災住宅の再建が進んでいる。今後、新たなコミュニティが形成されることで利用者の増加が見込まれる西塩釜駅、東塩釜駅の拠点機能強化が必要である。 ・回遊性向上のために整備する地域案内板には、津波避難情報(場所)等の情報付加を検討し、災害時の避難活動を支援することが必要である。
回遊性やネットワークの強化	<ul style="list-style-type: none"> ・宮町一号線他路線整備を実施することで、観光拠点である鹽竈神社へのアクセス性が向上した。 ・明治期に開業し現在は廃線となった路線敷きに、当時の歴史を紹介するサインやモニュメント等を設置した遊歩道を整備したことで市民や来訪者等の回遊性の向上を図ることが出来た。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新たに西塩釜駅や東塩釜駅を地域交流拠点として位置付けることから、3ゾーンの中心軸である「地域中心核」と地域交流拠点を有機的に結ぶ歩行者交通ネットワークを構築する必要がある。 	
快適な住環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・坂道の途中に一時的に休息できる施設整備を行うことで高齢者等が快適に暮らせる環境整備を行った。 ・地域防災拠点施設(公民館)にエレベーターを設置したことで、被災した高齢者等の円滑な移動が可能となった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・東日本大震災の影響により本計画で実施できなかった海岸通一号線について、バリアフリー対策の強化により安全な歩行空間の確保を行い、本塩釜駅周辺のバリアフリー化の推進を行う必要がある。 	
官民協働のまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> ・塩竈の食の魅力が体感できるイベントを開催し、新たな賑わいの創出を図ることが出来た。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き塩竈の魅力を発信できるイベント等を実施していく必要がある。 	

これを受けて、成果の持続にかかる今後のまちづくり方策を添付様式5-③A欄に記入します。

これを受けて、改善策にかかる今後のまちづくり方策を添付様式5-③B欄に記入します。

添付様式5-③ 今後のまちづくり方策

A欄 効果を持続させるため に行う方策	効果の持続を図る事項	効果を持続させるための基本的な考え方	想定される事業
	拠点機能の強化	・本塩釜駅前広場等により高められた拠点機能を更に強化・充実させるために、残された駐輪場整備を進める。	・本塩釜駅前の自転車駐輪場整備
	歩行環境の高質化	・中心軸の歩行環境をより高め、周辺に波及させるために、歩行空間・植栽等の整備によるグレードアップを図る。	・本塩釜駅周辺や北浜沢乙線等の歩道の高質空間形成

B欄 改善策	改善する事項	改善策の基本的な考え方	想定される事業
	交流人口の増大	・観光・商業の活性化を図り、交流人口を増大させるために、交流施設とシンボル施設を整備する。	・イベントに活用できる野外施設整備
	地域交流拠点の整備	・塩釜駅に加え、新たに西塩釜駅、東塩釜駅を地域交流拠点に位置付け、駅及び駅周辺の整備を推進し、機能強化を図る。	・塩釜駅周辺の歩道環境整備 ・西塩釜駅および東塩釜駅の交通広場、駅前広場整備
	回遊性・ネットワークの強化	・歩行者の回遊性・ネットワークを強化するために、歩道環境整備とあわせ、案内板等を設置する。	・中心市街地内の歩行者ネットワークにおける歩道の高質空間形成ならびに地域案内板整備
官民協働による景観まちづくりの推進	・市民団体主体の景観形成に資する活動や啓発活動を支援し、本市の魅力向上を図ることで中心市街地の活性化を推進する。 ・中心市街地活性化と塩釜のイメージアップにつながる、景観に配慮したまちづくりを推進する。	・市民団体の都市景観形成活動への支援 ・景観計画の推進	

フォローアップ又は次期計画等
において実施する改善策
を記入します。

なるべく具体的に記入して下さい。

■様式5-③の記入にあたっては、下記の事項を再確認して、これらの検討結果を踏まえて記載して下さい。(チェック欄)

● 交付金を活用するきっかけとなったまちづくりの課題(都市再生整備計画)を再確認した。
● 事業の実施過程の評価(添付様式3)を再確認した。
● 数値目標を達成した指標にかかる効果の持続・活用(添付様式4-②)を再確認した。
● 数値目標を達成できなかった指標にかかる改善の方針(添付様式4-③)を再確認した。
● 残された課題や新たな課題(添付様式5-②)を再確認した。

添付様式5-参考記述 今後のまちづくり方策に関するその他の意見

・東日本大震災の影響により、まちづくりの進め方が大幅に変わってしまったため、今後は、震災復興計画や復興交付金事業、災害復旧事業との調整を図りながら交流人口の拡大に向けた事業検討が必要である。

添付様式5-④ 目標を定量化する指標にかかるフォローアップ計画

・フォローアップの要否に関わらず、添付様式2-①、2-②に記載した全ての指標について記入して下さい。
 ・従前値、目標値、評価値、達成度、1年以内の達成見込みは添付様式2-①、2-②から転記して下さい。

・評価値が「見込み」の全ての指標、目標達成度が△又は×の指標、1年以内の達成見込み「あり」の指標について、確定値を求めるためのフォローアップ計画を記入して下さい。

指標		単位	従前値		目標値		評価値		目標達成度	1年以内の達成見込みの有無		フォローアップ計画		
			年度	年度	年度	年度	確定 ●	見込み ○		あり ●	なし ○	予定時期	計測方法	その他特記事項
指標1	歩行者交通量	人/12h	7,783	H21	7,940	H26	確定 ●	6,912	△	あり ●				
						見込み ○				なし ○				
指標2	駅周辺の満足度	%	36.1	H21	50.0	H26	確定 ●	74.7	○	あり ●				
						見込み ○				なし ○				
指標3	観光バス入場台数	台/日	86	H21	94	H26	確定 ●	37	×	あり ●				
						見込み ○				なし ○				
指標4	まちなか歩行環境の満足度	%	29.9	H21	46.0	H26	確定 ●	84.6	○	あり ●				
						見込み ○				なし ○				
指標5				H		H	確定 ●			あり ●				
							見込み ○			なし ○				
その他の数値指標1	本塩釜駅及び塩釜駅における乗客数	人/日	6,150	H21			確定 ●	6,024				H27年6月	JR東日本旅客鉄道株式会社から公表される平成27年3月31日現在における乗車人員を平成27年6月に確認し確定値とする。	
							見込み ○							
その他の数値指標2	景観整備に対する満足度	%	-	H			確定 ●	81.1						
							見込み ○							

添付様式6 当該地区のまちづくり経験の次期計画や他地区への活かし方

・下表の点について、特筆すべき事項を記入します。

項目		要因分析	次期計画や他地区への活かし方
数値目標 ・成果の達成	うまくいった点	・H25年度に中間モニタリングを実施したことにより、交付期間途中の各事業の効果、進行管理、指標への影響・測定方法等について確認することができた。 ・駅周辺の満足度、まちなかの歩行環境の満足度を確認するアンケートでは、事業実施箇所の整備前後の写真などを用い、市民に分かりやすい説明資料を作成したことで、高い満足度を得ることができたと思われる。	・モニタリングにより、事業期間中における各指標の動向が把握できる。あらかじめ、モニタリングの計測方法などについて検討しておくことが望ましい。 ・市民へのアンケートなどは図表等を用いた分かりやすい資料提供を行うことが有効である。
	うまくいかなかった点		
数値目標と 目標・事業との 整合性等	うまくいった点		・次期計画について、計画の目標や整備方針との関連性を考慮して、客観性のある指標を検討していくことが望ましい。
	うまくいかなかった点	・指標3:「観光バス入場台数」については、目標値に対して大きく未達成であった。、未達成要因としては東日本大震災による観光客の減少等が要因と考えられる部分もあるが、観光バス台数は観光客数の増減に比例していないことから、自家用車利用増加・団体旅行減少等の旅行形態の変移により観光バス自体での旅行者が減少しているものと思われることから、指標としての有効性にやや欠ける部分があったと思われる。	
住民参加 ・情報公開	うまくいった点	・東日本大震災後に落ち込んだ交流人口を呼び起こすためのイベント開催が行われ、まちづくりに参加する機運が高まった。	・住民参加は市のまちづくり事業を円滑に進める上で有効である。
	うまくいかなかった点	・地元住民との意見協議を踏まえ景観に配慮した道路の高質化を図る予定路線があったが、震災の影響により、道路および周辺住宅が被災してしまい地元住民との協議調整自体が難しい状況となってしまう、事業実施ができなかった。	
PDCAによる事業 ・評価の進め方	うまくいった点	・モニタリングを実施したことで、東日本大震災の影響による事業中断の判断や、数値指標への影響等を確認することができた。	・都市再生整備計画の事業や指標の達成状況を把握するため、モニタリングの実施は有効的である。
	うまくいかなかった点		
その他	うまくいった点		・震災復興計画や復興交付金事業、災害復旧事業との調整を図りながら事業検討を行うことが望ましい。
	うまくいかなかった点	・予期せぬ東日本大震災の影響による事業実施の見送り等に見直しに迫られた。	

添付様式6－参考記述 今後、まちづくり交付金の活用予定、又は事後評価を予定している地区の名称(当該地区の次期計画も含む)

・今後、次期都市再生整備計画を予定する地区
本市においては、東日本大震災の影響による事業実施の見送り等に見直しに迫られ、一定の効果を得たものの、拠点形成や魅力向上、回遊性の向上等、新たな課題も見つかったことから、第二期計画に引き続き、同区域内(中心市街地活性化推進地区:226ha)において、平成27年～平成31年までの5年間の計画で都市再生整備計画を策定している。当該事業の経験を踏まえて事業を実施していきたい。

(5) 事後評価原案の公表

添付様式7 事後評価原案の公表

公表方法	具体的方法	公表期間・公表日	意見受付期間	意見の受付方法	担当部署
インターネット	-	-	-	懇談会での意見募集	都市計画課 (都市再生整備計画担当課)
広報掲載・回覧・個別配布	-	-	-		
説明会・ワークショップ	塩竈市まちづくり懇談会において意見を募集	平成26年10月30日	平成26年10月30日		
その他	-	-	-		

住民の意見	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもも大人も憩える場所をつくってほしい。 ・塩竈として推したい場所までの動線を考えることが必要(点ではなく、線、面で考えることが必要)。 ・市民と一緒に考えてほしい。
-------	---

(6) まちづくり交付金評価委員会の審議

添付様式8 まちづくり交付金評価委員会の審議

委員構成		実施時期	担当部署	委員会の設置根拠	委員会の母体組織
学識経験のある委員	風見 正三 宮城大学事業構想学部教授	平成26年10月30日(木)	都市計画課 (都市再生整備計画担当課)	塩竈市まちづくり懇談会 開催要綱	独自に設置
その他の委員	塩竈市青年四団体連絡協議会、鹽竈海道まちづくり研究会、NPOみなとしほがま、塩竈市観光物産協会、よみがえれ！塩竈、塩竈市浦戸振興推進協議会、浦戸アイランド倶楽部、塩竈市芸術文化協会、塩竈市婦人会、託児ボランティアグループ「そるとと」、塩竈市東部地区町内会連絡協議会、塩竈市西部地区町内会連絡協議会、塩竈市南部地区町内会連絡協議会、塩竈市北部地区町内会連絡協議会、JR東日本 本塩釜駅・塩釜駅				

審議事項※1		委員会の意見
事後評価手続き等にかかる審議	方法書	■妥当である
	成果の評価	■妥当である
	実施過程の評価	■妥当である
	効果発現要因の整理	■妥当である
	事後評価原案の公表の妥当性	■妥当である
	その他	■意見なし
	事後評価の手続きは妥当に進められたか、委員会の確認	■妥当である
今後のまちづくりについて審議	今後のまちづくり方策の作成	■景観に配慮したまちづくりを進めてほしい ■どのようなイメージになるか提案し共有していくことが必要。
	フォローアップ	■問題なし
	その他	■意見なし
	今後のまちづくり方策は妥当か、委員会の確認	■妥当である
その他	■意見なし	

※1 審議事項の詳細は「まちづくり交付金評価委員会チェックシート」を参考にしてください。